

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	1 男女平等意識の促進					担当課	アンフォーレ課 No.1
施策	(1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開						
取組	男女共同参画に関する図書・DVD等の収集、貸出						
具体的な取組内容	男女共同参画に関連する図書や関連雑誌、DVDなどを収集・整備し、貸出を行うことで、市民・団体等の自主的な学習を支援する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	市民が、女性関連資料を目にする機会が増え、男女共同参画の認知が深まる。						
指標	女性関連資料の蔵書冊数			指標の出典	図書管理システム「ELCIELO」からの抽出		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度> 2,150冊						2,650冊
実績	2,364冊						
2018年度	活動計画	情報を収集し、資料を購入する					進捗状況
	活動実績	<p>女性関連図書の充実に努めた。 H31.3.31現在の女性関連図書数=2,364冊（H30.3 2,276冊） （内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・367（家庭問題全般）=315冊 ・367.0（女性問題全集等）=68冊 ・367.1（女性運動・女性論等）=65冊 ・367.2（女性史等）=765冊 ・367.3（家族関係等）=736冊 ・367.4（婚姻・離婚問題等）=253冊 ・A367（女性関連郷土資料）=159冊 ・AV資料=3枚 <p>上記、女性関連図書の利用に努めた。 男女共同参画の総合情報誌『共同参画』（内閣府・編集／発行、月刊、寄贈）や男性育児雑誌『FQJAPAN』（季刊）を購入し利用に供している。平成30年度に117冊の図書の購入等を行った。</p>					B
	課題等	<p>男女共同参画に関連する図書等の情報収集を行い、計画的に蔵書冊数を増やすことができた。 また、H30年度の蔵書冊数は2,364冊で、指標の実績である2,150冊を大きく上回った。 今後、計画的に蔵書冊数を増やしていきたい。</p>					
次年度の活動計画	引き続き、男女共同参画に関連する図書等の情報収集を行い、蔵書の充実と利用の促進に努める。						

※ 中央図書館からアンフォーレに移転した際にシステムが変わり、図書抽出で差が出てしまったため、2016年度の実績を修正

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	1 男女平等意識の促進					担当課	市民協働課 No.2	
施策	(1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開							
取組	男女共同参画に関する情報発信の充実							
具体的な取組内容	男女共同参画に関する情報誌の発行、広報紙・ホームページへ記事を掲載する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	さんかく21・安城と協働して情報誌を発行することで、市民が広く男女共同参画の情報を入手できる。							
指標	情報誌の年間発行回数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	→						2回	
実績	2回							
2018年度	活動計画	さんかく21・安城と協働して情報誌を年2回発行する。情報誌は公共施設にて配布の他、市公式ウェブサイトに掲載する。					進捗状況	
	活動実績	2回（10月、2月）情報誌を発行し、「LGBT」や「絵本や教科書からみる男女共同参画」など身近な男女共同参画について記事を掲載した。情報誌は、公共施設にて配布するだけでなく、イベント開催時での配布、市公式ウェブサイトに掲載し、広報に情報誌発行の記事を掲載し広く市民へ啓発した。 広報あんじょう7/15号に男女共同参画の特集記事を掲載し、第4次プランの紹介や「LGBT」「女性活躍推進」のPRをした。					A	
	課題等	まだまだ、男女共同参画は女性の問題との意識があるため、今後も様々な世代等に啓発が必要である。						
次年度の活動計画	より市民に興味を持ってもらう内容となるようテーマを検討し、年2回情報誌をさんかく21・安城と協働して発行する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		1 男女平等意識の促進				担当課	市民協働課 No.3
施策		(1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開					
取組		男女共同参画イベントの開催					
具体的な取組内容		市民活動団体と市が協働して男女共同参画に関するイベント等を開催する。(週間・月間イベント)					
男女共同参画の視点からの達成目標		さんかく21・安城と協働で開催することで、より市民の視点に沿ったイベント内容となり、多くの市民が男女共同参画の重要性・必要性を認識する。					
指標		男女共同参画関連のイベント参加者数		指標の出典		週間イベント・月間イベント・さんかくカレッジ(セミナー)の参加者数	
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標	<2016年度> 485人	→					530人
実績		361人(月間イベントの会場がアンフォーレのため減)					
2018年度	活動計画	さんかく21・安城と協働で企画・運営を行う。女性活躍推進や男性に向けてなど開催時に必要なテーマで企画する。イベントの告知先に企業等も加え広く募集する。					進捗状況
	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・週間イベント：「知ってますか？LGBT」/講師 特定非営利活動法人ASTA/市民交流センター/参加者 101人 ・月間イベント：LGBTのトーク及びシネマ「彼らが本気で編むときは、」上映/アンフォーレ/参加者 166人 ・セミナー(第1回)：「もっと広がる歌の世界」/44人 ・セミナー(第2回)：「多様な性 まず知ることから」/50人 ※毎年、月間イベントを文化センターホールにて実施していたが、改装中のためアンフォーレホールにて実施した。アンフォーレの収容人数は200人のため全体の人数は減少した。しかし、参加者アンケートよりLGBTの認知を高めることができた。					D
	課題等	月間イベントは10月のため、様々なイベントと重なるため、参加者の確保が難しい。今後はより早く周知するなど検討が必要である。					
次年度の活動計画		より市民に興味を持ってもらう内容となるようテーマを検討し、週間イベント・月間イベント・セミナー2回を行う。					

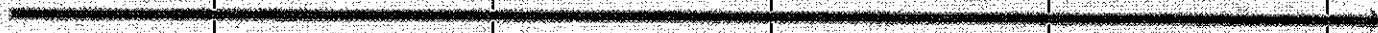
第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		1 男女平等意識の促進				担当課	市民協働課 No.4	
施策		(2) 男女共同参画に関する学習機会の提供						
取組		出前講座の実施						
具体的な取組内容		市民等の要請に応じ、地域、職場、学校などにおいて男女共同参画に関する出前講座等を実施する。						
男女共同参画の視点からの達成目標		参加者が講座を通じ、男女共同参画についての理解を深める						
指標		出前講座の実施回数			指標の出典	—		
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度> 0回	→					2回	
実績	1回							
2018年度	活動計画	各公共施設等に出前講座の案内を配布し、依頼のあった団体等へ出前講座を実施する					進捗状況	
	活動実績	第4次男女共同参画プランについて「さんかく21・安城」へ出前講座を実施した。プランの見直しや新規に追加した内容について説明し、安城市の取組内容や女性活躍推進LGBT等について理解を促した。 また、2019年度の出前講座のメニュー内容を見直し、「男女共同参画について」から「LGBTやDVについて」に修正した。					B	
	課題等	市民が依頼しやすくなるように分かりやすい内容を検討すべきである。						
次年度の活動計画		継続して、市民団体へ出前講座を実施する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	1 男女平等意識の促進					担当課	市民協働課 No.5	
施策	(2) 男女共同参画に関する学習機会の提供							
取組	人材育成のための講座等の開催							
具体的な取組内容	方針・施策決定の場に参画できる女性人材を計画的かつ継続的に育成する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	受講生が、エンパワメント講座を通じて、市政へ関心を持ち、様々な分野で意見を提言する場に参画する							
指標	人材育成講座の受講者数(累計)			指標の出典		エンパワメント講座の受講者数		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	-----					460人		
実績	<2016年度> 327人	351人						
2018年度	活動計画	様々な年代の方に参加いただけるよう広報紙・市公式ウェブサイト・チラシ・フェイスブック等で参加者を募る。子育て中の方にも参加しやすくするため託児も実施する。					進捗状況	
	活動実績	①男女共同参画とは/日置雅子氏 ②私たちの暮らしの中の法/弁護士 下野谷順子氏 ③メディアリテラシー/名古屋大学准教授小川明子氏 ④・安城市政・安城市の男女共同参画施策・・議会(午後:傍聴)/市職員 ⑤わかりやすいまとめ方⑥効果的な伝え方⑦成果発表会/松田 照美氏 (全7回)実施。 最後の成果報告会では、「男性の育児休業について」「出産後の女性が働き続けるのはむずかしいのか」をテーマに発表した。					B	
	課題等	グループワークがあるため、途中でリタイヤする方が出てしまった。申し込み時点でしっかり趣旨を理解いただいたうえで申し込みの受付をしなければいけない。						
次年度の活動計画	様々な年代の方に参加いただけるよう広報紙・市公式ウェブサイト・チラシ・フェイスブック等で参加者を募る。子育て中の方にも参加しやすくするため託児も実施する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	1 男女平等意識の促進					担当課	市民協働課 No.6	
施策	(2) 男女共同参画に関する学習機会の提供							
取組	市役所職員への男女共同参画研修の実施							
具体的な取組内容	男女共同参画への意識を高めるため、市職員の研修を実施する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	市職員が自らワーク・ライフ・バランスを実践すると、男女共同参画の視点を踏まえた業務遂行をするようになる							
指標	市職員の男女共同参画研修参加者数			指標の出典	DV・LGBT職員研修、新入庁職員研修受講者数			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標							85人	
実績	<2016年度> 43人	169人						
2018年度	活動計画	職員研修を実施する					進捗状況	
	活動実績	①DV職員研修参加者（60名）「DVの基礎知識」/増井 さとみ氏（ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA） ②LGBT職員研修参加者（60名）「LGBTの基礎知識及びライフストーリーなど」/特定非営利活動法人ASTA ③新入庁職員研修参加者（49名）「男女共同参画について」市職員					A	
	課題等	今年度DV職員研修を全課対象に募ったが、参加者の中には、DV被害者と接する機会がないと考える職員がいた。もっとDVについての理解を促し、被害者が市役所へ来た時に、どの課の窓口でも正しい対応ができるように研修が今後も必要である。						
次年度の活動計画	DV及びLGBTの理解をすすめるため職員研修を実施する。さらに新入庁職員へも男女共同参画の理念が浸透するように研修を実施する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	保育課 No.7
施策	(1) 学校等における教育機会の充実						
取組	保育者への男女共同参画研修の実施						
具体的な取組内容	園長、所長を対象に、男女共同参画に関する研修を実施し、男女平等への理解を深める。						
男女共同参画の視点からの達成目標	保育者が男女共同参画社会基本法の基本理念を理解することができる。						
指標	保育者研修会の参加人数			指標の出典		-	
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	→					32人	
実績	27人						
2018年度	活動計画	園長、所長を対象に、園長会で研修を行う。				進捗状況	
	活動実績	園長対象に研修を行うことにより、男女平等への理解を深めることが出来た。				D	
	課題等	保育士への意識が高まるように、今後も啓発していく必要がある。					
次年度の活動計画	園長、所長への研修を継続して行う。						

※ 他の行事と重なるなどしたため、研修会に参加できない園長がおり、参加人数が減少した。

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	学校教育課 No.8	
施策	(1) 学校等における教育機会の充実							
取組	学校等における男女共同参画に関する教育の実施							
具体的な取組内容	学校等において、男女平等意識を浸透させるための学習を推進する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	児童・生徒が、男女の違いを知るとともに、お互いを理解し合おうと努めていく気持ちを育てる。							
指標	「道徳」「学活」「総合」「保健」「人権教育」の授業で男女共同参画の学習を行った学級数			指標の出典	小中学校の担任の報告による			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度>	→					すべての学級	
実績	421学級							
2018年度	活動計画	①「道徳」や「学活」、「総合」等を通して、男女間の協力や助け合いの必要性について考える場を設け、学校行事や学年行事に活かす。 ②「保健」の授業を通して、男女間の違いや特徴について考える場を設け、男女間の特性を尊重して学校生活を送ることができるようにする。 ③「人権教育」の授業を通して、人それぞれの個性について考える場を設け、個性を尊重して学校生活を送ることができるようにする。					進捗状況	
	活動実績	全小中学校の約7割の学級において、授業で男女共同参画の学習を行った。					B	
	課題等	小学校低学年の児童にわかりやすく男女共同参画を教える方法。						
次年度の活動計画	①「道徳」や「学活」、「総合」等を通して、男女間の協力や助け合いの必要性について考える場を設け、学校行事や学年行事に活かす。 ②「保健」の授業を通して、男女間の違いや特徴について考える場を設け、男女間の特性を尊重して学校生活を送ることができるようにする。 ③「人権教育」の授業を通して、人それぞれの個性について考える場を設け、個性を尊重して学校生活を送ることができるようにする。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	市民協働課 No.9	
施策	(1) 学校等における教育機会の充実							
取組	生徒に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施							
具体的な取組内容	生徒向けにデートDVに関する内容のリーフレットなどを作成・配布し、周知を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	生徒が男女共同参画を含めたDVについて認識するようになる							
指標	リーフレットの配布枚数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標						2000枚		
実績	3808枚							
2018年度	活動計画	デートDV防止のリーフレットを作成し、市内全中学3年生に配布し啓発する					進捗状況	
	活動実績	①「明るい男女共同参画」のリーフレットにデートDV及びLGBTの記事を掲載し、市内全中学3年生（1878人）に配布した。 ②「知っていますかLGBT」のリーフレットを作成し、市内全幼稚園・保育園の年少児の保護者（1930人）に配布。LGBTの正しい知識の情報提供をした。					A	
	課題等	どのような内容を掲載するとよいのか。効果が分かりにくい。						
次年度の活動計画	リーフレットを作成し、継続して情報提供を実施する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	学校教育課 No.9	
施策	(1) 学校等における教育機会の充実							
取組	生徒に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施							
具体的な取組内容	生徒向けにデートDVに関する内容のリーフレットなどを作成・配布し、周知を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	生徒が、交際をしている異性同士が平等であるという観点に立ち、交際相手の人権を尊重した考えをもてるようになる。							
指標	—		指標の出典		—			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度>							
実績	—							
2018年度	活動計画	デートDVに関する情報収集する					進捗状況	
	活動実績	インターネット、書籍などを利用してデートDVに関する情報を収集した。					C	
	課題等	有用な情報を得られる書籍の選定。						
次年度の活動計画		デートDVに関する情報収集する						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	学校教育課 No.10
施策	(1) 学校等における教育機会の充実						
取組	教育現場におけるLGBTへの対応						
具体的な取組内容	教育現場において性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発や研修機会の提供を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	教職員が、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めることができる。						
指標	LGBT等に関する啓発の実施率			指標の出典	各校からの報告		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度>	—————→					85%以上実施
実績	65%						
2018年度	活動計画	教職員に対して、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を進んで行う。					進捗状況
	活動実績	県やNPOなどが主催する性的少数者（LGBT等）に対する研修会の情報提供を行い、約65%の教職員に対して啓発を行った。					B
	課題等	今後も教員以外で学校で働く職員にも啓発が必要。					
次年度の活動計画	教職員に対して、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を引き続き行う。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	学校教育課 No.11	
施策	(2) 思いやり、認め合う意識の醸成							
取組	思春期保健の推進							
具体的な取組内容	学校などが行う学童期・思春期の発達段階に応じた保健教育を支援する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	教職員が、男女の成長期における違いを正しく理解するとともに、違いを認めつつ互いに理解し合おうとする意識の向上を図る。							
指標	—			指標の出典	—			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度>							
実績	—							
2018年度	活動計画	保健の授業において、養護教諭を活用し、男女の成長の違いに関する性の授業の充実を図る。					進捗状況	
	活動実績	保健の授業において、養護教諭を活用し、男女の成長の違いに関する性の授業を行った。					B	
	課題等	すべての小中学校では行われていない。						
次年度の活動計画	保健の授業において、養護教諭を活用し、男女の成長の違いに関する性の授業を充実する。							


第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	2 若年者への男女平等意識の定着					担当課	健康推進課 No.11	
施策	(2) 思いやり、認め合う意識の醸成							
取組	思春期保健の推進							
具体的な取組内容	学校などが行う学童期・思春期の発達段階に応じた保健教育を支援する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	子どもたちが、受け継がれた命、大切に育てられてきた自分を感じるにより、命の大切さを知ること、また人生設計が望まない変更とならないように、「性」についての正しい知識を知る。							
指標	講師派遣及び物品貸し出し件数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	→					5.0件		
実績	<2016年度> 4.7件	4.1件						
2018年度	活動計画	思春期健康教育へ講師派遣や物品貸し出しをする。					進捗状況	
	活動実績	小中学校を中心に講師派遣等を29回、物品貸し出しを12回行った。 その他、市内のすべての小中学生にチラシを配布し思春期保健に関する啓発を行った。					D	
	課題等	学校教育課や各学校の養護教諭等と協力し、子どもたちが命の大切さを感じ、性の知識を学ぶ機会を引き続き設ける必要がある。						
次年度の活動計画	講師派遣等を継続し、学びの機会を提供していく。							

※ 学校が独自で教授などに講師を依頼したり、クラス数自体が減っているなど、学校からの依頼が減少したために、講師派遣及び物品貸出の件数が減少した。

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

④

基本目標		2 若年者への男女平等意識の定着				担当課	子育て支援課 No12	
施策		(2) 思いやり、認め合う意識の醸成						
取組		赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業の推進						
具体的な取組内容		命の大切さを学ぶことで、人権意識を認識し、思いやりの意識を醸成する機会として、小中学生を対象とした赤ちゃん講座を開催し、小中学生と乳幼児がふれあう機会を設ける。						
男女共同参画の視点からの達成目標		小中学生が、赤ちゃんとふれあい、関わることによって様々なことを感じたり考えたりしながら思いやりや命を大切にするようになる。						
指標		児童センターのふれあい交流事業の参加人数		指標の出典		-		
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度> 840人						840人	
実績	4,585人※	735人					4,600人※	
2018年度	活動計画	各児童センターでふれあい交流会を実施する。					進捗状況	
	活動実績	児童センター9カ所（ふれあい体験、赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験等）					D	
	課題等	3歳児未満の保育園・認定こども園への入園が増加しており、乳幼児を対象とした講座等への参加が伸び悩んでいる。また児童・生徒の参加希望も少ない。						
次年度の活動計画		児童センター9カ所（ふれあい体験、赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験等）						

※ふれあい交流会事業以外の参加者が含まれていたため、2016年度の実績値及び2023年度の目標値を修正

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.13	
施策	(1) 女性のエンパワーメントへの支援							
取組	各種審議会等における女性委員の増加に向けた取組							
具体的な取組内容	各種審議会等における女性委員の割合を増やし、方針・政策決定の場への女性の参画を進める。							
男女共同参画の視点からの達成目標	女性が審議会等に参加することで、方針・政策決定の場に女性の意見が述べられるようになる							
指標	法律・条例により設置される審議会等の女性委員の割合			指標の出典	安城市における審議会等の状況調査			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	➔ 30.4%						30.4%	
実績	<2016年度> 27.4%	29.9%						
指標	すべての審議会等における女性委員の割合			指標の出典	安城市における審議会等の状況調査			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	➔ 33%						33%	
実績	<2016年度> 28.2%	30.9%						
2018年度	活動計画	年4回審議会等の女性委員調査を実施。次年度に改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課へヒアリングを実施し、女性委員の登用を促す。					進捗状況	
	活動実績	年4回（4、6、9、12月）審議会等の女性委員調査を実施。次年度改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課（11課）へヒアリングを実施し、女性委員を登用いただくよう依頼した。					B B	
	課題等	女性率が改善した審議会等でもあて職や公募に手上げする市民が男性しかいないなどの理由により悪化してしまうことがある。						
次年度の活動計画		年4回審議会等の女性委員調査を実施。次年度に改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課へヒアリングを実施し、女性委員の登用を促す。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践				担当課	市民協働課 No.14	
施策		(1) 女性のエンパワーメントへの支援						
取組		女性の人材リスト等の整備						
具体的な取組内容		エンパワーメント講座修了生や地域で活躍する人を人材リストへ登載し、審議会等への登用をPRする。						
男女共同参画の視点からの達成目標		人材育成講座修了生等が人材リストへ登録することで、様々な審議会等に参加することができるようになる						
指標		市民参加パートナーバンクの登録者数（累計）		指標の出典		-		
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度> 172人	→					202人	
実績		184人						
2018年度	活動計画	エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジ・県男女共同参画人材育成講座の修了生へ人材リストへの登載依頼をする					進捗状況	
	活動実績	エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジ・県男女共同参画人材育成講座の修了生へ人材リストへの登載依頼を実施した。					B	
	課題等	講座修了生のうちパートナーバンクへ登録していただけない人がいる。						
次年度の活動計画		エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジ・県男女共同参画人材育成講座の修了生へ人材リストへの登載依頼をする						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.15	
施策	(1) 女性のエンパワーメントへの支援							
取組	女性の人材育成のための研修・講座への派遣							
具体的な取組内容	女性リーダーを育成するため、県などが行う研修会や講座へ市民を派遣する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	県などが開催する研修会等へ参加した市民が、女性リーダーに必要な知識・見識を得る							
指標	研修会等派遣者数(累計)			指標の出典	県男女共同参画人材育成講座及び日本女性会議等への市民派遣数			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標							43人	
実績	29人							
2018年度	活動計画	県男女共同参画人材育成講座及び日本女性会議等へ市民派遣する					<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div>	
	活動実績	日本女性会議へ公募市民2名派遣。 女性教育指導者研修会へ市民1名派遣。						
	課題等	県男女共同参画人材育成講座を呼び掛けたが、希望者が出ず派遣できなかった。						
次年度の活動計画	県男女共同参画人材育成講座及び日本女性会議等へ市民派遣する							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践					担当課	生涯学習課 No.15
施策		(1) 女性のエンパワーメントへの支援						
取組		女性の人材育成のための研修・講座への派遣						
具体的な取組内容		女性リーダーを育成するため、県などが行う研修会や講座へ市民を派遣する。						
男女共同参画の視点からの達成目標		女性が、エンパワーメントに対する意識、知識を高めることで、性別に関わりなくその個性と能力を発揮することができるようになる。						
指標		女性が充実した生活を送るための講座実施数（人）			指標の出典		—	
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度>	—————→					6人	
実績	—	4人						
2018年度	活動計画	県などが行う研修会について、女性リーダーやリーダー候補に情報提供し、積極的に参加してもらう。					進捗状況	
	活動実績	県PTA連絡協議会や家庭教育推進協議会の情報交換会や講演会に女性リーダーに出席していただいた。					B	
	課題等	研修会によっては有料の場合もあり、知識を高めることができる良い講座であっても、派遣が難しい場合がある。						
次年度の活動計画		次年度も女性がエンパワーメントに対する意識、知識を高めることができる研修会や講座へ市民を派遣する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.16
施策		(1) 女性のエンパワーメントへの支援						
取組		誰もが学べる環境の整備						
具体的な取組内容		講座等の開催において託児の実施を行うなど、誰もが学びの場へ参加しやすい環境を整備する。						
男女共同参画の視点からの達成目標		育児中の女性等が、安心して講座等に参加できる						
指標		託児付講座数		指標の出典		-		
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度> 5講座	5講座 →					7講座	
実績	5講座							
2018年度	活動計画	男女共同参画週間イベント、月間イベント、エンパワーメント講座等で託児を実施する					進捗状況	
	活動実績	①男女共同参画週間イベント「LGBTを知っていますか」 ②新しい私発見講座 ③男女共同参画月間イベント「彼らが本気で編むときは、」 ④男女共同参画セミナー ⑤男女共同参画サテライトセミナー					C	
	課題等	託児を設定しても利用者があまりいない。託児を利用する方に情報が届いているかどうか。PR方法をもう少し検討が必要である。						
次年度の活動計画		男女共同参画週間イベント、月間イベント、エンパワーメント講座等で託児を実施する						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践					担当課	生涯学習課 No.16
施策		(1) 女性のエンパワーメントへの支援						
取組		誰もが学べる環境の整備						
具体的な取組内容		講座等の開催において託児の実施を行うなど、女性が学びの場へ参加しやすい環境を整備する。						
男女共同参画の視点からの達成目標		女性が学びの場へ参加しやすい環境を整えることにより、ひとづくり、地域づくり等における知識・技能を向上することができる。						
指標		託児付講座数			指標の出典		-	
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度> 30講座	→					30講座	
実績		38講座						
2018年度	活動計画	女性が知識、技能を向上するうえで有意義となる講座等の開催において託児を行う。					進捗状況	
	活動実績	公民館主催講座、乳幼児・家庭教育学級等で託児付き講座を実施した。開講した際の託児の希望者は非常に多く、子どもを育てながらも学びたいといった女性が増えていることが伺える。					A	
	課題等	託児ニーズは年々増加しているため、託児者不足にならないよう新規託児者の育成や謝礼の予算措置が必要。						
次年度の活動計画		託児が必要な月齢の子どもを育てながらも自分らしく生きがいをもって生活できるような講座を今後も開講していく。						


第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践					担当課	商工課 No.17
施策		(2) 職場における女性活躍の推進						
取組		職場での女性活躍に向けた啓発・情報提供						
具体的な取組内容		女性管理職の拡大や女性の能力の活用について、県・関係機関が開催する講座などの情報収集に努め、商工会議所会報への掲載を依頼するなど、連携して企業・事業所などへの啓発を行い、女性の積極的な参加を促す。						
男女共同参画の視点からの達成目標		事業者が、女性の能力の活用に対する意識を高めることにより、女性が能力を発揮できる社会になる。						
指標		県・関係機関が開催する講座等の啓発回数			指標の出典		-	
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度> 3回	→						
実績		6回						
2018年度	活動計画	県・関係機関が開催する女性の活躍をテーマとした講座などの情報収集に努め、商工会議所会報への掲載を依頼するなど、連携して企業・事業所などへの啓発を行う。また、アンフォーレのビジネス支援フロア、キーボードにおいてもチラシを設置するなどして啓発を行う。					進捗状況	
	活動実績	平成30年10月10日（水）アンフォーレ多目的室にて、愛知県と共催で「イクボス養成セミナー」と題して、㈱デンソーの人事部の方を講師として招き、企業が持続的に成長していくため、ライフイベントを超えて、女性が生き生きと活躍できる環境や組織実現に向けた取り組みについての講演を行った。					B	
	課題等	事例紹介にとどまらず、企業が取り組む女性が活躍できる環境づくりへの誘導。						
次年度の活動計画		職場のメンタルヘルス対策に関するセミナーを開催（開催時期未定）し、長時間労働是正や、ハラスメントの防ぎ方の講演を通じて、女性が働きやすい環境づくりの構築につなげていく。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践					担当課	商工課 No.18
施策		(2) 職場における女性活躍の推進						
取組		女性の起業支援の実施						
具体的な取組内容		アンフォーレ内に設置する「安城ビジネスコンシェルジュ（通称「ABC」）」において、Anjo創業支援ファームやKEY PORT（キーポート）と連携し、起業セミナーを開催する。						
男女共同参画の視点からの達成目標		多くの女性が起業することで、女性が生き活きと活躍できる社会が形成される。						
指標		起業セミナー参加者数			指標の出典		-	
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度>	→					30人	
実績	-	18人						
2018年度	活動計画	起業セミナー（女性のみを対象とするかどうかは未定）を開催する					進捗状況	
	活動実績	KEY PORT（キーポート）にて、ABCの専門家等を講師として全9回にわたり、「KEYPORT卒業後の不動産探しのポイント」「lot時代に乗り遅れないビジネスモデルとは」「元記者が教えるメディア活用法」等をテーマに起業やビジネスに役立つセミナーを開催した。					B	
	課題等	より多くの潜在的な起業希望者を掘り起すために、セミナー開催を広くPRする必要がある。						
次年度の活動計画		今年度と同様に、起業やビジネスに役立つセミナーを開催するとともに、ABCメルマガや広報掲載等を通じてセミナー開催を広くPRする。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	商工課 No.19	
施策	(2) 職場における女性活躍の推進							
取組	女性の就労支援・再就職支援等の実施							
具体的な取組内容	出産・育児・介護などで退職した女性の再就職を支援するための情報の発信を行うとともに、セミナーを開催する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	退職した女性が、再就職に関する情報を得て、働けるようになる							
指標	再就職支援セミナー受講者数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標						20人		
実績	13人							
2018年度	活動計画	セミナーを実施する					進捗状況	
	活動実績	平成31年1月17日（木）・24日（木）に文化センターで再就職をお考えの方を対象に、パソナ様及びびノエピアを講師として招き、求人状況と働き方のトレンド及び就職活動にすぐに役立つ知識とスキルについての講演を実施した。					C	
	課題等	親の介護等それぞれの置かれている状況に合わせた勤務体系の構築といった、企業の具体的な取り組みへの誘導。						
次年度の活動計画	今年度も昨年度と同様に、女性再就職をテーマにしたセミナーを実施予定。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	人事課 No.20
施策	(2) 職場における女性活躍の推進						
取組	安城市における「特定事業主行動計画」の推進						
具体的な取組内容	市役所における職員の子育て支援、女性職員の活躍に向けた環境整備のため、「特定事業主行動計画」の目標達成に努める						
男女共同参画の視点からの達成目標	女性職員が管理職員へ登用されることで、女性の個性と能力が十分に発揮され、活力のある組織になる。						
指標	管理的地位にある職員（課長補佐級以上）に占める女性職員の割合（再掲）			指標の出典		-	
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標						17%	
実績	11.3%						
指標	市男性職員の育児休業等の取得率			指標の出典		-	
目標						85%	
実績	90.5%						
2018年度	活動計画	研修や面談などにより人材育成を図り、女性管理職の登用に務める。				進捗状況	
	活動実績	管理職への女性登用を意識した人事異動を行ったが、研修や面談による人材育成はできなかった。				D A	
	課題等	人事異動で管理職への女性登用を意識しても、現状ではなかなか難しい。					
次年度の活動計画	まずは管理職へ登用できる人材を育成するための方策について検討する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	農務課 No.21	
施策	(2) 職場における女性活躍の推進							
取組	女性農業者への支援の充実							
具体的な取組内容	農業分野における男女共同参画、女性活躍が促進されるよう、希望する女性に対し、就農や農業経営等の支援を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	農業に従事する女性が、農業という職業分野においても活躍できるようになる。							
指標	家族経営協定の締結農家戸数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標						69戸		
実績	<2016年度> 62戸	66戸						
2018年度	活動計画	家族経営協定に対する意識を高めるため、家族経営協定調印式を実施する。また、女性農業者を対象としたイベント（女性農業者の集い）を行い、女性農業者への経営支援等を行う。					進捗状況	
	活動実績	3月に女性農業者のつどいを開催し、愛知県農業改良普及課の職員、女性農業委員、家族経営協定を締結している人から、家族経営協定等についての話をしてもらったとともに、意見交換会を行った。また、同じ月に家族経営協定調印式を実施し、新たに1家族が調印した。					B	
	課題等	調印式については、慣例として年度末に1回行っているが、実態に合うように実施時期や回数の見直しを検討する必要がある。						
次年度の活動計画	引き続き愛知県農業改良普及課と連携し、女性農業者のつどいなどの実施を通じて家族経営協定の締結等に関する啓発活動を行う。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	契約検査課 No.22		
施策	(2) 職場における女性活躍の推進								
取組	子育て支援や女性の活躍推進を行う企業への優遇策の検討								
具体的な取組内容	子育て支援や女性の活躍、ワーク・ライフ・バランス推進等に積極的に取り組む企業を評価する入札、契約制度の拡充の検討をする。								
男女共同参画の視点からの達成目標	市が、評価競争入札の評価で既に取り入れている「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」以外に「あいち女性かがやきカンパニー」等の制度に登録認定された企業を入札、契約時の評価に加えることで、企業へ女性の活躍やワークライフバランスの啓発及び誘導できる。								
指標	入札における加点対象企業数			指標の出典	—				
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			
目標	→								
実績	<2016年度> 26社	32社							
2018年度	活動計画	国や県が実施している企子育て支援や女性の活躍等に関する企業の認定制度における登録状況を調査し、安城市の入札、契約制度における認定制度の活用について調査研究を行う。						進捗状況	
	活動実績	2019年度に実施する建設工事における総合評価落札者決定方式一般競争入札の評価項目に愛知県の「女性の活躍促進宣言」の取り組みを評価することを追加した。						B	
	課題等	全国的にも建設業界で問題となっている担い手不足の解消の一環として、女性の活用が謳われているため追加導入することとした。安城市内の企業の取り組みについて評価対象、評価方法及びその効果について引き続き研究を行う。							
次年度の活動計画	2019年度の実施の結果を検証する								

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践					担当課	商工課 No.23
施策		(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備						
取組		各種制度（育児休業・介護休業等）の周知						
具体的な取組内容		仕事と育児・介護の両立を支援するため、育児・介護休業制度、パートタイム労働法、ファミリー・フレンドリー企業、再就職支援などの情報収集に努め、広報やチラシなどでPRし、制度などの取得・利用を促す。						
男女共同参画の視点からの達成目標		各種制度を周知することにより、労働環境の向上に結びつけ、男女共に仕事と家庭生活の両立を図る。						
指標		各種制度についての広報及び啓発回数			指標の出典		-	
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度> 12回	→						
実績		8回						
2018年度	活動計画	各種制度の情報収集に努め、広報やチラシによるPRを行う。					進捗状況	
	活動実績	愛知県産業労働部労政局からの「仕事と介護の両立モデル事例集」のチラシを配布するなど、働き方改革を進める中で、実際に仕事と育児・介護を進めている事例集を周知した。					C	
	課題等	継続して周知を進めることで、今後ますます各種制度の理解が深まるよう取り組みを進める。						
次年度の活動計画		今年度と同様に、チラシの配布等を進め制度理解の促進を図る。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	健康推進課 No.24	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供							
具体的な取組内容	男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、男性を対象とした講習会や学習機会の提供を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	夫婦が、妊娠期から出産後の妊産婦の心の変化や、育児について共に学び、お互いの役割を一緒に考えることができる。							
指標	夫婦でのパパママ教室参加率			指標の出典	夫婦でパパママ教室に参加した妊婦数 /パパママ教室に参加した妊婦総数			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標							90%以上	
実績	94%							
2018年度	活動計画	夫婦でのパパママ教室を継続して実施する。					進捗状況	
	活動実績	パパママ教室へんきょう編では201名、たいけん編では113名の夫が参加しました。					A	
	課題等	より多くの男性が育児に参画するよう、育児に関する教室の内容に工夫が必要である。						
次年度の活動計画	父親の役割に関する内容を追加し、引き続きパパママ教室を実施する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	子育て支援課 No24	
施策	(3) 家庭の責任をともに担うための環境の整備							
取組	男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供							
具体的な取組内容	男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、男性を対象とした講習会や学習機会の提供を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	男性が、積極的に子育てや家事を楽しむようになる。							
指標	「パパ講座」、「育メン広場」参加人数			指標の出典		—		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	← 550人						550人	
実績	318人							
2018年度	活動計画	パパが子育てについて学ぶ「パパ講座」、パパと子が一緒に遊ぶ「育メン広場」を開催する。					進捗状況	
	活動実績	パパ講座 3回/年 参加107人 育メン広場 1回/月 参加211人 ※11月は台風接近により中止					D	
	課題等	体を動かす講座の参加者は多いが、座学（講座）の参加者が少ない。						
次年度の活動計画	パパ講座 3回/年（元気体操、アンガーマネジメント、パワフル運動遊び） 育メン広場 1回/月（手あそび、工作、大型絵本等）							


第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		3 男女共同参画社会の実践					担当課	生涯学習課 No.24
施策		(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備						
取組		男性の家事、育児等への参画に向けた学習機会の提供を行う。						
具体的な取組内容		男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、講習会や学習機会の提供を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標		男性または女性が共に家庭生活を担うための講習を受けることで、男性の家事、育児等の参画への理解が促進する。						
指標		男性の参画を促進するための講座実施数			指標の出典		-	
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度> 18講座	→					18講座	
実績		25講座						
2018年度	活動計画	男性の家事、育児、介護への参画を促進するための講座を開講する。					進捗状況	
	活動実績	土日に親子で参加できる講座等、働き盛りの男性も参加しやすい講座を多数開催した。また、男性向け視点の講座やライフマネジメント講座等、男女が家庭的責任をともに担うための講座を開催した。					A	
	課題等	男性の学習機会への参加は増えているものの、継続して学べる機会の提供が必要である。						
次年度の活動計画		男女が家庭的責任をともに担うため、男性の家事、育児、介護への参画を促進する講座を継続して実施する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.25	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進							
具体的な取組内容	仕事と家事・育児等の両立に配慮した働き方に関する啓発等を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	子育て世代の男性が、家事・育児等の両立に配慮した働き方を認識することで、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活をするようになる							
指標	ワーク・ライフ・バランスについての啓発回数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度>							
実績	2回							
2018年度	活動計画	広報紙やさんかく情報誌などでワーク・ライフ・バランス等の啓発を実施する					進捗状況	
	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ！男女が輝く職場づくり～安城市男女共同参画情報パンフレット～に情報を掲載し、市内企業900社へ配布 ・新入庁職員研修にてワーク・ライフ・バランスを啓発 					B	
	課題等	市内企業へパンフレットを配布したが、それをどれだけの人が理解できているか把握できていない。						
次年度の活動計画	研修や啓発物等でワーク・ライフ・バランスについて啓発を実施する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	商工課 No.25	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進							
具体的な取組内容	仕事と家事・育児等の両立に配慮した働き方に関する啓発等を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	子育て世代の男性が、働き方を見直し、男女共に仕事と家庭生活の両立を図るようになる。							
指標	働き方に関する広報・啓発の実施回数			指標の出典	広報、商工会議所会報、各種窓口でのチラシの設置			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<div style="display: flex; align-items: center;"> <2016年度> 6回  </div>							
実績	8回							
2018年度	活動計画	情報を収集し、商工会議所会報や市内企業訪問、市内企業を対象とした各種講座、アンフォーレのビジネス支援コーナーにてチラシの配付等による啓発を行う。					進捗状況	
	活動実績	平成30年10月10日（水）アンフォーレ多目的室にて、愛知県と共催で「イクボス養成セミナー」と題して、㈱デンソーの人事部の方を講師として招き、企業が持続的に成長していくため、ライフイベントを超えて、女性が生き生きと活躍できる環境や組織実現に向けた取り組みについての講演を行った。それ以外に、愛知県産業労働部労政局からの「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動2018」への協力チラシを配布するなど、働き方改革を進める中で、子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進などの周知を実施した。					B	
	課題等	継続して周知を進めることで、今後ますます各種制度の理解が深まるよう取り組みを進める。						
次年度の活動計画	今年度と同様に、チラシの配布等を進め制度理解の促進を図る。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.26	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	働き方の見直しのための啓発							
具体的な取組内容	企業に対し有給休暇、ノー残業デー制度等の取得を促す							
男女共同参画の視点からの達成目標	事業者が制度を整備することで、働く人のワーク・ライフ・バランスがとれるようになる							
指標	有給休暇・ノー残業デー制度等の啓発回数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度> -							
実績	1回							
2018年度	活動計画	商工会議所の会報などで有給休暇促進、ノー残業デー等の制度の啓発をする					進捗状況	
	活動実績	チャレンジ！男女が輝く職場づくり～安城市男女共同参画情報パンフレット～（企業版）に情報を掲載し、市内企業900社へ配布					B	
	課題等	来年度より有給を5日取得しなければならない取り扱いとなるため、今後ますます有給休暇促進を啓発する必要がある。						
次年度の活動計画	商工会議所の会報などで有給休暇促進、ノー残業デー等の制度の啓発をする							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	商工課 No.26	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	働き方の見直しのための啓発							
具体的な取組内容	企業に対し有給休暇、ノー残業デー制度等の取得を促す。							
男女共同参画の視点からの達成目標	労働者が、働き方を見直すことにより、男女共に仕事と家庭生活の両立を図れるようになる。							
指標	県下一斉ノー残業デーの啓発回数			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標							1回	
実績	1回							
2018年度	活動計画	県下一斉ノー残業デーの啓発等に協力する。					進捗状況	
	活動実績	愛知県産業労働部労政局からの「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動2018」への協力チラシを配布し、県内一斉ノー残業デーへの啓発に取り組んだ。					A	
	課題等	継続して周知を進めることで、今後ますます各種制度の理解が深まるよう取り組みを進める。						
次年度の活動計画	今年度と同様に、チラシの配布等を進め制度理解の促進を図る。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.27	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	女性活躍推進のための講座などの開催							
具体的な取組内容	女性活躍推進のために職場環境を考える講座などを開催する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	企業の人事担当者や労働者が、職場での適切な人員配置と必要な業務改善について考えることで、働きやすい職場環境の整備がすすむ。							
指標	女性活躍推進のための講座の受講者			指標の出典		-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度>	—————→					20人	
実績	10人							
2018年度	活動計画	育休・短時間勤務を選択する社員も増えていることで他の職員にかかる負担を考慮し、適切な人員配置と必要な業務改善とは何かを考えるワークショップを開催する。					進捗状況	
	活動実績	「新しい私」発見講座の中で話し合いを実施。					C	
	課題等	講座の受講者は女性が多く、男性が参加しやすい日時も検討が必要である。						
次年度の活動計画		育休・短時間勤務を選択する社員も増えていることで他の職員にかかる負担を考慮し、適切な人員配置と必要な業務改善とは何かを考えるワークショップを開催する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	子育て支援課 No.28	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	子育て家庭への支援の充実							
具体的な取組内容	地域子育て支援拠点事業を充実し、子育てへの不安解消の手助けをする							
男女共同参画の視点からの達成目標	子育て中の市民が、子育ての不安が解消することによって、子育てに前向きになる							
指標	子育て支援センター、つどいの広場利用人数			指標の出典	社会福祉事務所新任研修受講者			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	80,664人					85,000人		
実績	108,986人							
2018年度	活動計画	乳幼児を持つ子育て中の市民が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みが相談できる場を提供する。					進捗状況	
	活動実績	子育て支援センター5か所（子育て相談や子育て情報の提供、子育てサークルの支援など） つどいの広場4か所（親子が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる場の提供）					A	
	課題等	子育て支援センター、つどいの広場を複数か所設置することで、より多くの親子の利用や充実した子育て支援に繋がっている。						
次年度の活動計画	子育て支援センター5か所（H31.3.31 根崎子育て支援センター業務終了、H31.4.1 和泉子育て支援センター開設） つどいの広場4か所							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	生涯学習課 No.29	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	女性のライフプランニング支援							
具体的な取組内容	積極的な社会参画を目指す女性をはじめ、女性が充実した生活を送るための講座を開講する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	女性が充実した生活を送るための講座を受講することで、積極的な社会参加が望めるようになる。							
指標	女性が充実した生活を送るための講座実施数			指標の出典		—		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	<2016年度>	—————→					1回	
実績	8回							
2018年度	活動計画	女性のライフプランニング（キャリアプラン含む）を支援する講座を開講する。					進捗状況	
	活動実績	コミュニケーション講座やアンガーマネジメント、経済講座、共働き家庭が多くなってきた今日注目されている収納講座等、女性が充実した生活を送るための多種多様な講座を開催し、好評であった。					A	
	課題等	女性の社会参加へ向けて、時代に合った講座を企画する必要がある。						
次年度の活動計画	女性のライフプランニングを支援する講座を継続して実施する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	市民協働課 No.30
施策	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進						
取組	地域団体や組織等に対する男女共同参画に関する情報・学習機会の提供						
具体的な取組内容	町内会・老人クラブ・PTA・子ども会などをはじめ各地域における地域団体や組織、また、町内公民館長を対象とする研修会などで積極的に男女共同参画を働きかける。						
男女共同参画の視点からの達成目標	各種団体が、男女の隔たりなく活躍できるようになる。						
指標	町内会長に就く女性の割合			指標の出典		-	
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	→					10%	
実績	2.5%						
指標	町内会等への啓発			指標の出典		-	
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	→					2回	
実績	3回						
活動計画	各種団体を所管する担当課と連携し、男女共同参画についての啓発を行う						進捗状況
2018年度	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全町内会へ「私たちが実現する男女共同参画社会～安城市男女共同参画啓発パンフレット～」(市民版)」を配布 ・男女共同参画週間イベントを啓発 ・男女共同参画セミナーを啓発 					B A
	課題等	まだまだ町内会の役員に女性の登用が進んでいない。					
次年度の活動計画	各種団体を所管する担当課と連携し、男女共同参画についての啓発を行う						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備				担当課	危機管理課 No.31
施策		(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進					
取組		防災活動における男女共同参画の推進					
具体的な取組内容		防災会議などへの女性委員の登用や、女性の視点から考えられる避難所の備蓄品整備を推進する。					
男女共同参画の視点からの達成目標		女性の意見が防災計画や備蓄計画に反映される。					
指標		①女性の視点に配慮した備蓄品の配備		指標の出典	女性の視点に配慮した備蓄品（トイレ用ランタン、除菌消臭剤、ウェットティッシュ）の配備		
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標	<2016年度>	→					配備完了
実績	配備なし	備蓄品の購入					
指標		②防災会議の女性の登用率		指標の出典	-		
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標	<2016年度>	→					30%
実績	8%	13.8%					
2018年度	活動計画	備蓄計画に基づく備蓄品の配備を進める。 防災会議などへの女性委員の登用を図る。					進捗状況
	活動実績	計画通り、女性の視点に配慮した備蓄品を全て購入した。 防災会議において、市民団体より追加で2名の女性委員の登用を図り、女性の意見を反映できる環境を整えた。					B B
	課題等	各団体の役職者から委員を選出しているため、女性委員の登用が難しい。					
次年度の活動計画		備蓄計画に基づき、各避難所に配備する。 防災会議などへの女性委員の登用を図るとともに、女性委員の意見を反映できる環境を整備していく。					


第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備				担当課	市民安全課 No.32
施策		(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進					
取組		女性を狙う犯罪から身を守るための講座の開催					
具体的な取組内容		女性を狙う犯罪から身を守るため、防犯教室などの講座を開催し、防犯に対する意識の向上を図る。					
男女共同参画の視点からの達成目標		防犯教室等の参加者が、実践を多く行うことにより、女性の防犯意識が高まるとともに、対応策を身に付けることで不審者に対する心構えができるようになる。					
指標		女性対象防犯教室の参加者数（累計）			指標の出典		-
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標	<2016年度> 1,142人 (累計)	→					1,940人
実績		1,400					
2018年度	活動計画	女性が性犯罪で被害者になりやすいことから、犯罪抑止、自己防衛について女性職員に注意を喚起するとともに、男性が加害者となる可能性もあるため、男性職員へ防犯を訴えかける視点やアプローチを持たせた研修も実施していく。					進捗状況
	活動実績	平成30年12月4日(火) 不審者等侵入対策研修会（さすまた講習会）開催					B
	課題等	さすまた以外にも不審者対策に有効な手段がないか検討する。					
次年度の活動計画		継続して開催する。					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備				担当課	市民協働課 No.33
施策		(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進					
取組		男女共同参画に取り組む市民活動団体の育成					
具体的な取組内容		様々な団体と連携し、男女共同参画の趣旨を理解し男女共同参画の視点で活動する団体をふやす					
男女共同参画の視点からの達成目標		市民活動団体が、それぞれの分野の取組の中で男女共同参画を促進するようになる					
指標		男女共同参画の活動も行う団体数		指標の出典	市民活動センターの登録団体のうち男女共同参画にチェックのある団体数		
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標	<2016年度> 31団体	—————→					32団体
実績	33団体						
2018年度	活動計画	町内会や市民活動団体等へ男女共同参画の趣旨を啓発し、男女共同参画をすすめる事業に市の補助金等を支給する					進捗状況
	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動補助金の行政提示型「男女共同参画を啓発するもの」として2団体が受託し、市民協働課と協働して事業を実施 ・町内会へ男女共同参画の情報提供を実施（NO. 30参照） ・市民交流センターに登録する団体のうち「男女共同参画」を活動分野にしている団体へ男女共同参画啓発パンフレットを送付 					A
	課題等	連続して男女共同参画の市民活動補助金を受託する市民団体がいない。					
次年度の活動計画		町内会や市民活動団体等へ男女共同参画の趣旨を啓発し、男女共同参画をすすめる事業に市の補助金等を支給する					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	健康推進課 No.34	
施策	(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進							
取組	妊娠や出産に関する健康支援の実施							
具体的な取組内容	子どもを望む夫婦を支援するため不妊治療費の助成を行う。また、妊産婦健康診査の実施にあたり、受診しやすいように妊産婦健康診査費の助成を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	助成を受けた夫婦が、経済的負担の軽減により、安心して妊娠に向けて取り組んだり、出産を迎えるようになる。							
指標	妊娠11週までの妊娠届出率			指標の出典	妊娠11週までの届出数/全届出数			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標						95%以上		
実績	96.4%							
2018年度	活動計画	不妊治療費の助成を行う。 妊産婦健康診査費の助成を行う。					進捗状況	
	活動実績	不妊治療：申請件数283件 助成金額8,875,000円（H30） 妊婦健診：一人当たり、妊婦健診14回、産婦健診1回を助成					A	
	課題等	子供を望む夫婦が、安心して妊娠に向けて取り組んだり、出産を迎えられるよう、今後も引き続き助成していく必要がある。						
次年度の活動計画	現行どおり実施していく。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標		4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備				担当課	健康推進課 No.35	
施策		(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進						
取組		男女特有の疾病に対する予防支援						
具体的な取組内容		各種がん検診の実施や保健指導・健康教育などを通じ、性差に応じた健康課題に対する予防支援を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標		市民が、男女特有の疾病（子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）の検診受診の重要性を認知することで検診を受診するようになる。						
指標		乳がん検診受診率		指標の出典		乳がんの受診率（国保加入者）		
基準年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<2016年度> 17%	→					18%	
実績		17%						
2018年度	活動計画	乳幼児健康診査や健康イベント（健康づくりフェア）での啓発及びデンタルケア教室での健康教育などによる予防支援を行う。					進捗状況	
	活動実績	乳幼児健診会場にチラシやポスターを設置し乳がん自己検診法の周知に努めた。 「ケンサチウェルネスフェスタ」において、乳がんモデルの設置により乳がん自己検診法の啓発に努めた。 「親がお手本！デンタル教室」で参加した保護者に対して乳がん自己検診法を指導し、乳がん検診受診を勧めた。					C	
	課題等	乳がん検診の受診と乳がん自己検査法の周知が必要である。						
次年度の活動計画		様々な機会を捉え、引き続き検診受診の重要性を周知する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（平成30年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	保育課 No.36	
施策	(3) 参画を助ける環境の整備							
取組	通常教育・保育事業の推進							
具体的な取組内容	「安城市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育所等における受入体制を整備する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	保育を希望する市民の子どもが、より多く保育園等に入所できるようになる。							
指標	保育園等への入園申込をした児童のうち、どこにも入園できなかった児童の人数（再掲）			指標の出典	—			
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
目標	← 2016年度 > 0人					0人		
実績	19人							
2018年度	活動計画	現状維持を目標としながら、さらに受入れ人数を増やすため、平成31年度開園予定の新園（私立）設立の準備を行っていく。					進捗状況	D
	活動実績	保育園の申込状況に応じて入園選考指数に基づき適切な利用調整を行った。						
	課題等	待機児童が発生した。						
次年度の活動計画	引き続き適切な利用調整を実施するとともに、令和3年度開園予定の新園（私立）設立の準備を行っていく。							